

吃音の特徴的な話し方



連発 (れんぱつ)
わ、わ、わたし
言葉をくりかえす



伸発 (しんぱつ)
わ————たし
言葉をひきのばす



難発 (なんぱつ)
・・・わたし
言葉がすぐにでない

吃音には話し方があり
人によって違います

場面や話す相手によっても
症状や話しづらさが
変わることがあります

吃音の誤解と 正しい知識

- ・名前など、一言ならいえる
- ・緊張しているだけで普段は話せる
- ・ゆっくり話せばいえるようになる
- ・吃音が目立たない人は困っていない
- ・みんな大人になれば自然に治る
- ・どんな時でも話しづらい
- ・話しづらい難発は目立つ症状

- ・一言でもいえない時がある
- ・緊張していなくても症状が出る
- ・ゆっくり話してもいえない時がある
- ・吃音が目立たない人も悩んでいる
- ・2～3割の人は自然に治らない
- ・話せる時と話せない時で波がある
- ・難発は目立たず理解されにくい症状

制作 黒澤大樹 (言語聴覚士)
発行 ふくしま吃音懇話会
<http://fukushima-kitsuon.com>
発行日 令和3年5月
連絡先 kurosawa.daiki96@gmail.com

きつおん
吃音 について
知ってほしいこと

吃音のある人の周りの方々へ

きつおん 吃音って なんですか？

言いたいことはわかっているのに、思ったようになめらかに話せないことを吃音（きつおん）といいます

吃音のある人は世界で100人に1人います

でも、吃音のことを正しく理解している人はあまり多くありません

吃音の理解が広がることそれが、吃音のある人たちの“安心”につながります

吃音とは

一般的には「どもる」といわれているなめらかに話せない症状です

「わわわたし」とくり返す連発の他に最初の言葉をのばす伸発やのどだけ金縛りになったように言葉がすぐにでない難発という症状もあります

体に力が入ったり、手や足を動かして話してしまうこともあります

吃音のある人と話すときは

言葉につまって話していても最後までゆっくり話を聞いてください

指摘したり、急かしたりすると話しづらさが強くなることが多いです

吃音のある人の話し方ではなく話す内容に注目して聞いてください

吃音のある人の悩み

吃音のある人は、周りの人から話し方を指摘されたり笑われることがあります

そうすると吃音への恥ずかしさや「指摘されるかも」「笑われるかも」という不安が強くなっていきますまた、話しづらさも強くなり話すのをやめる、言葉をいいかえるなど話したいことが話せなくなることもあります

海に浮かぶ氷山のように目にみえる吃音症状よりも海に沈んでいる目にみえない悩みの方が問題として大きいことがあります

